

レタス*¹ (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ベ ト 病	灰 色 か び 病	菌 核 病	す そ 枯 病	白 絹 病	腐 敗 病	斑 点 細 菌 病	軟 腐 病	ビ ツ グ ベ イ ン 病
ベジキーパー水	生物農薬	-		*d	-							◎			
マスタピース水	生物農薬	-		1	-							◎	◎	◎	
Zボルドー水	無機	M1		-	-							◎			
ドイツボルドーA水	無機	M1		-	-							◎	◎		
ベニドー水	無機	M1		-	-							◎	◎	◎	
ジーファイン水	無機・無機	NC・M1		1	-							◎			
アミスター20FL	Q○I	11		7 30	4 2		◎	◎	◎	◎					◎
ファンタジスタ顆水	Q○I	11		3	3			◎	◎	◎					
メジャーFL	Q○I	11		3	3		◎	◎	◎	◎					
アフエットFL	アミド	7		1	3			◎	◎	◎	◎				
カンタスDF	アミド	7		7	2			◎	◎						
パシタック水75	アミド	7		*c	3					◎					
モンカットFL40	アミド	7		7	3					◎	◎				
レーバスFL	アミド	40		7	3		◎								
アグレプト液	抗生物質	25		14	2							◎			
バリダシン液5	抗生物質	U18		1	3					◎		◎		◎	
ベジターボDF	抗生物質	19		14	3			◎		◎					
ポリオキシシナL溶	抗生物質	19		14	3				◎						
スミレックス水	ジ [®] カルホ [®] キシミト [®]	2		7	5			◎	◎						
ロブラール水	ジ [®] カルホ [®] キシミト [®]	2		14	3				◎	◎	◎				
トップジンM水	ベンゾ [®] イミダゾール	1		7 45	2 1	灌				◎	◎				◎
ベンレート水	ベンゾ [®] イミダゾール	1		14	4			◎	◎	◎					
キノンドー水40	有機銅	M1		21	5		◎					◎	◎	◎	
ヨネボン水	有機銅	M1		14	4		◎					◎	◎	◎	
リゾレックス水	有機リン	14		7	3					◎	◎				
エトフィンFL	他	22		1	3		◎								
オリゼメート粒	他	P2		*a	1							◎	◎		
ケンジャFL	他	7		1	3			◎	◎						
スターナ水	他	31		7	2							◎	◎	◎	
ダコニール1000FL	他	M5		14 42	3 2		◎	◎		◎					◎
パレード20FL	他	7		*f 1	1 3	☆			◎	◎	◎				
ピシロックFL	他	U17		1	3		◎								
プレビクルN液	他	28		14	3		◎								
フロンサイドSC	他	29		*e	1					◎				◎	◎
フロンサイド粉	他	29		*b	1					◎					◎
ベルコート水	他	M7		14	3			◎	◎						

レ
タ
ス

レタス*¹ (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ベ と 病	灰 色 か び 病	菌 核 病	す そ 枯 病	白 絹 病	腐 敗 病	斑 点 細 菌 病	軟 腐 病	ビ ツ グ ベ イ ン 病
ライメイFL	他	21		3	3		◎								
ランマンFL	他	21		3	3		◎								
シグナムWDG	Q o I ・ アミド	11・ 7		7	2		◎	◎	◎	◎					
ジャストフィットFL	アミド・他	43・ 40		*g 1	1 2	☆	◎								
フォリオゴールドFL	アミド・他	4・ M5		14	3		◎								
ベジセイバーFL	アミド・他	7・ M5		14	3		◎	◎	◎	◎					
アグリマイシン-100水	抗生物質・抗生 物質	41・ 25		14	2							◎			
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・ M1		7	4							◎	◎		
スミブレンド水	ベンゾ [®] イミダゾール・ ジカルボキシミド [®]	10・ 2		7	5			◎	◎						
ゲッター水	ベンゾ [®] イミダゾール・ ベンゾ [®] イミダゾール	10・ 1		7	2			◎	◎						
ニマイバー水	ベンゾ [®] イミダゾール・ ベンゾ [®] イミダゾール	10・ 1		14	3			◎	◎						
ダコレート水	ベンゾ [®] イミダゾール・ 他	1・ M5		14	3		◎	◎		◎					
シトラーノFL	有機銅・他	M1・ M5		21	3		◎			◎		◎		◎	
ゾーバックエンカン ティアSE	他・Q o I	49・ 11		7	2		◎								
カセット水	他・抗生物質	31・ 24		7	2							◎	◎	◎	
フェスティバルC水	他・無機	40・ M1		3	3		◎								
ナレート水	他・有機銅	31・ M1		21	2							◎	◎	◎	
ソータルWDG	他・有機リン	31・ 14		7	2					◎		◎		◎	
カーニバル水	他・他	40・ M5		14	3		◎			◎					
ザンプロDMFL	他・他	45・ 40		3	3		◎								
ドージャスFL	他・他	21・ M5		14	3		◎			◎					

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

*a:定植時 *b:播種又は定植前 *c:結球開始期まで(但し収穫30日前まで)

*d:発病前～発病初期 *e:定植前 *f:育苗期後半～定植当日 *g:定植前日～定植当日

灌:灌注処理

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

レタス*¹(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分 類コ ード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ム シ 類	ヒ メ フ タ テ ン ヨ コ バ イ	ハ モ グ リ バ エ シ 類	ヨ ト	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ウ オ ワ バ コ ガ 類	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ケ ラ	カ タ ツ ム リ 類	ナ メ ク ジ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ユ ウ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ	
																					☆
スピノエース顆水	ｽﾍﾞﾉｼﾝ	5		＊b	1	☆			◎				◎								
ボタニガードES	微生物	-		*g	-								◎								
スラゴ* ²	他	UN		*f	-												◎	◎			
アタブロン乳	I G R	15		3	2						◎										
カウンター乳	I G R	15		3	3						◎		◎								
カスケード乳	I G R	15		3	3					◎			◎								
ノーモルト乳	I G R	15		3	2						◎										
ファルコンFL	I G R	18		3	2						◎		◎								
マッチ乳	I G R	15		3	3								◎								
マトリックFL	I G R	18		7	3						◎		◎								
バイデートL粒	ｶﾞﾊﾞﾒｯﾄ	1A	劇	*b	1															◎	◎
ネマキック粒	殺線虫	1B		*b	1																◎
モベントFL	殺ダニ	23		7	3		◎	◎													
フェニックス顆水	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		1	2					◎	◎		◎	◎							
プリロッソ粒	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		*m	1	△	◎		◎				◎								
				*k			◎		◎		◎										
プレバソンFL 5	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		*m	1	☆			◎	◎	◎	◎	◎		◎						
				1	3				◎	◎	◎	◎									
プレバソン粒	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		*m	1	△			ナ				◎								
				*k					ナ												
ベネビアOD	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		1	3		◎		◎	◎	◎	◎	◎								
バリマークSC	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		*m	1	☆	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎							
ヨーバルFL	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		1	3		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎							
				*m	1	☆	◎		◎	◎	◎	◎	◎								
ディアナSC	ｽﾍﾞﾉｼﾝ	5		1	2		◎		◎		◎	◎									
アクタラ粒5	ﾓﾆﾓﾄﾞ	4A		*c	1		◎		ナ												
				*h					ナ												
アクタラ顆溶	ﾓﾆﾓﾄﾞ	4A		7	2		◎														
アドマイヤー顆水	ﾓﾆﾓﾄﾞ	4A	劇	3	2		◎														
アドマイヤーFL	ﾓﾆﾓﾄﾞ	4A	劇	3	2		◎														
アドマイヤー1粒	ﾓﾆﾓﾄﾞ	4A		*c	1		◎														
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	ﾓﾆﾓﾄﾞ	4A		3	2		◎														
				*L	1	☆	◎		ナ		◎										

レ
タ
ス

レタス*¹(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	使用 条件	ア ブ ラ ミ ウ シ	ア ザ ミ コ バ イ	ヒ メ フ タ テ ン ヨ コ バ イ	ハ モ グ リ バ エ シ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ウ オ オ タ バ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ケ タ ツ ム リ 類	ナ メ ク シ 類	ナ グ サ レ セ ン チ ユ ウ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
アルバリン粒 スタークル粒	ネコチノイト ^o	4A		*h *c *d	1	★				ナ										
ダントツ溶	ネコチノイト ^o	4A			1	2	◎◎			ナ										
ダントツ粒	ネコチノイト ^o	4A		*c *d	1		◎ △◎ ◎													
ベストガード溶	ネコチノイト ^o	4A			3	3	◎													
ベストガード粒	ネコチノイト ^o	4A		*c *i	1		△◎ ★			ナ										
モスピラン顆溶	ネコチノイト ^o	4A	劇		1	3	◎		ナ											
モスピラン粒	ネコチノイト ^o	4A		*e	1		◎		ナ◎	◎		◎								
パダンSG溶	ネイストキシ	14	劇		14	3	◎		◎										◎	
リーフガード顆水	ネイストキシ	14	劇		7	2	◎◎		ナ										◎	
アグロスリン水	ビレスロイト ^o	3A	劇		7	5	◎													◎
アディオン乳	ビレスロイト ^o	3A			3	5	◎			◎										
ガードベイトA粒	ビレスロイト ^o	3A		*o		5									◎					
スカウトFL	ビレスロイト ^o	3A	劇		1	3	◎													
トレボン乳	ビレスロイト ^o	3A			14	3	◎													
フォース粒	ビレスロイト ^o	3A	劇	*d		1									◎					
マブリック水20	ビレスロイト ^o	3A	劇		7	2	◎													
アニキ乳	マクロイト ^o	6			3	3						◎	◎							
アフーム乳	マクロイト ^o	6			3	3			ナ			◎	◎							
オルトラン水	有機リン	1B			30	3	◎◎			◎			◎							
カルホス微粒F	有機リン	1B	劇	*a		2									◎					
ジェイエース溶	有機リン	1B			30	3				◎◎	◎									
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		*a		2									◎◎◎					
ネキリエースK粒	有機リン	1B		*j		2									◎					
マラソン乳	有機リン	1B			3	5	◎													
アクセルFL	他	22B			1	3						◎	◎							
アクセルベイト粒	他	22B			1	3									◎					
ウララDF	他	29			1	2	◎													
グレーシア乳	他	30			3	2		◎	ナ	◎◎◎◎										
コテツFL	他	13	劇		1	2			ナ	◎◎◎										

レ
タ
ス

レタス*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ シ 類	ア ザ ミ ン ヨ コ バ イ 類	ハ モ グ リ バ エ シ 類	ヨ ト ウ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ 類	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ 類	ウ オ ワ バ コ ガ 類	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	ケ ネ ム シ 類	カ タ ツ ム リ 類	ナ メ ク シ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ユ ウ 類	
コルト顆水	他	9B		1	3		◎													
トランスフォームFL	他	4C		1	3		◎													
トルネードエースDF	他	22A		7	2				◎	◎		◎								
ハチハチFL	他	21A	劇	14	2		◎	◎	ナ										◎	
ブレオFL	他	UN		7	2			◎	ナ			◎		◎						
プロフレアSC	他	30		1	3					◎		◎		◎						
マイキラールFL	他	8	劇	14	3														◎	◎
キックオフ顆水	ジ ^ア ミ ^ト ・社 ニコ ^ノ イト ^ト	28・ 4A		*L	1	☆	◎		ナ		◎		◎		カ					
ジュリボFL	ジ ^ア ミ ^ト ・社 ニコ ^ノ イト ^ト	28・ 4A		*m	1 7	☆ 2	◎ ◎	◎	ナ	◎	◎	◎	◎		カ					
ハクサップ水	ビ ^レ ソ ^ト ・ 有機 ^ソ	3A・ 1B	劇	3	2		◎						◎							
アフームエクセラ 顆水	マ ^カ ロ ^イ ト ^ト ・ IGR	6・ 15		3	3				ナ				◎							

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる

*2:「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等」での登録

*a:播種時又は定植時 *b:定植前 *c:育苗期後半 *d:定植時 *e:定植前日～定植当日

*f:発生時 *g:発生初期 *h:播種前 *i:播種時

*j:播種時又は定植時～生育初期(但し収穫21日前まで) *k:育苗期後半～定植時

*L:定植前日～定植時 *m:育苗期後半～定植当日 *o:生育初期

カ:カブラヤガ ナ:ナメグリバエ

☆:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

★:培土に混和する。

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。

レタス*¹(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	播種前	1. 密植を避け、通風をよくし、排水を良好にする。 2. 肥切れや窒素過多にならないように注意する。	冷涼多湿条件で発生するので、秋～春にかけての栽培は注意する。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ダコニール1000(FL) 1000倍 ランマンフロアブル 2000倍	
灰色かび病	生育期	1. ハウス、トンネル栽培では換気に留意し、多湿とならないようにする。 2. 灌水は茎葉に直接かけると発生を助長する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤● 1500倍 スミレックス水和剤● 1000～2000倍 トップジンM水和剤● 1500～2000倍 ベルコート水和剤 1000～2000倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍 4. 発病株は抜きとって土中に埋める。	比較的低温で多湿のときに発生しやすい。11～4月に雨が連続と急激に発生する。 一般にハウス、トンネル栽培で、また密植すると多発しやすい。 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
腐敗病・斑点細菌病	育苗期～生育期	1. 定植時に次の薬剤を土壌処理する。 オリゼメート粒剤△ 6～9kg/10a 2. 次の薬剤のいずれかを散布し予防する。 カスミンボルドー(水) 1000倍 カセット水和剤 1000倍 ナレート水和剤 1000倍 ドイツボルドーA(水) 500～1000倍 3. 凍霜害やその他の傷をつけないようにする。	斑点細菌病は晩秋と早春に発生が多く、葉縁に淡黒色のV字型斑を生ずる。 腐敗病は外葉全体が腐敗し、乾燥するとノリ状または油紙のようになる。 △オリゼメートは使用方法を誤ると、葉が黄化したり、生育遅延することがあるので注意する。

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

レタス*1(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
菌核病	生育期	<p>1. ハウスやトンネル栽培では換気に留意し、高温多湿にならないようにする。</p> <p>2. マルチ栽培を行う。</p> <p>3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 スミレックス水和剤 1000～2000倍 トップジンM水和剤 1500～2000倍 ベルクート水和剤 1000～2000倍 ロブラール水和剤 1000倍</p> <p>4. 被害株は見つけ次第抜きとり土中深くに埋没する。</p> <p>5. 収穫後の切り株はすみやかにとり除き、圃場衛生につとめる。</p>	<p>ビニールハウスやトンネルでは晩秋から初冬あるいは春先に発生が多い。</p> <p>土壌中に残った菌核が伝染源となる。菌核は薬剤や堆肥化するときの発酵熱にも強いので、圃場内に残さないようにする。</p>
すそ枯病	播種または定植前	<p>1. 多発畑では苗床および本畑を土壤消毒する(土壤消毒の項参照)。</p> <p>2. 次の薬剤を全面土壤混和する。 フロンサイド粉剤 30kg/10a</p> <p>3. 排水不良畑で発生が多いので畑の周囲に溝を掘るなどして排水を良好にする。</p>	本病はリゾクトニア菌による。
	生育期	<p>・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ダコニール1000(FL) 1000倍 バシタック水和剤75 500～1000倍 モンカットフロアブル40 1000～2000倍 リゾレックス水和剤 1000倍 ロブラール水和剤 1000倍</p>	
軟腐病	播種または定植前	<p>1. 春～初夏どりで多発するところは12～2月の冬どり栽培を行う。</p> <p>2. 低湿地では排水を良好にする。</p>	ほとんどの野菜類に発生する病害で、病原細菌は土壌中で越冬し傷口から侵入する。 真冬を除いて発生するが、初夏～初秋までの気温の高い時期に発生しやすい。 結球期以後の中耕除草は根を切ったり葉を傷つけ、発生を助長する。
	生育期	<p>1. 根や地際部を加害するヨトウムシ、ナメクジなどを防除する。</p> <p>2. 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 カセット水和剤 1000倍 キノンドー水和剤40 600倍 ナレート水和剤 1000倍 バリダシン液剤5 800倍 ヨネポン水和剤 500倍</p>	

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

レタス*1(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
モザイク病	育苗期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 苗床は寒冷紗などで被覆栽培する。 2. 発病株は見つけ次第抜き捨てる。 3. アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。 	レタスモザイクウイルスとキュウリモザイクウイルスによっておこる。 レタスモザイクウイルスはアブラムシのほか種子によって伝染する。
	定植後	・発病株は見つけ次第すみやかに抜き捨てる。	
アブラムシ類	育苗期	・苗床は寒冷紗で被覆する。	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 アドマイヤーフロアブル 4000倍 ウララDF 2000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍	
ナモグリバエ	播種前	・次の薬剤のいずれかを培土に混和する。 アルバリン粒剤 15g/培土10 スタークル粒剤 15g/培土10	#ハモグリバエ類での登録 #1セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～40)あたり0.5ℓ。土耕の育苗床では使用できない。
	育苗期後半～定植時	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の薬剤のいずれかを株元に散布する。 アクタラ粒剤5 育苗期後半 0.5g/株 ベストガード粒剤 育苗期後半 0.5～1g/株 モスピラン粒剤 定植前日～定植当日 0.5g/株 2. 次の薬剤を灌注処理する。 プレバソンフロアブル5 #、#1 育苗期後半～定植当日 100倍 	
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アファーム乳剤 1000～2000倍 ディアナSC# 2500～5000倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 コテツフロアブル 2000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 ファルコンフロアブル 2000～4000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍	

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

レタス*¹(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
オオタバコガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 1000～2000倍 エスマルクDF* 1000倍 ファルコンフロアブル 2000～4000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 	*野菜類での登録
ネキリムシ	播種時又は定植時	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤を施用し土壤に混和する。 ダイアジノン粒剤5 4～6kg/10 a 	
	定植後	<ul style="list-style-type: none"> ・茎葉の被害が見られた場合は、株元の土を調べ幼虫を捕殺する。 ・次の薬剤を株元に散布する（生育初期）。 ガードベイトA(粒) 3kg/10 a 	
ナメクジ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤を散布する。 パダンSG水溶剤 1500倍 	
	発生時	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤を発生あるいは被害が見られた場所又は株元に配置する。 スラゴ 1～5g/m² 	
ネグサレセンチュウ・ネコブセンチュウ	定植前	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤を全面土壤混和する。 バイデートL粒剤 40～50kg/10 a 	
その他の病害虫		株枯病、タネバエ、ヤサイゾウムシ	

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。